



夢咲楽

～和輪話通信～

夏休みの出会い

今年の夏休みは暑い日が多く、夜になっても気温が高く、寝苦しい夜が続いた。

そんな夏のある晩、仕事帰りの私は、一人の小学生に会った。小学生は歩道の側石に座って、深夜にもかかわらず子犬を抱いて、パンをちぎって食べさせていた。

「こんな夜遅く、どうしたの。お母さん心配しているよ。」と言って声をかけると、

「お母さんはまだ帰っていない。」

と言っていた。

私はプライベートには立ち入らず、たわいない話だけして

「気をつけて帰ってね。」

と言って別れた。

小学生は子犬を大切に抱いて坂道を登って帰って行った。

私はその小学生とは初めて会ったばかりで、しかも祖父と孫ほど年の差があったが、話せばわかる、心と心、声をかけることの大切さを学んだ夜だった。

私が小学生のころ、母親が良く口にしていたのが、万葉集まんようしゅうの山上憶良やまのうえのおくらの「銀も金も玉も何せむに まされる宝 子に及かめやも」である。子どもを育てる基本的な考え方が、子どもの心を大切にしてくれることであった。

6年生の時、地区の児童会で夏休み中の行事を何にするかを決める際、小さな砂浜で親子運動会を行うことを提案した。全員賛成してくれた。しかし、賞品を買う資金

は無い。賞品は無しにした。私たちは一日親や家族と楽しい時間を過ごしたかったのである。この事を地区の親たちが知り、親たちは各家庭を廻り、小麦を一升ずつ集めパン屋さんで焼きたてのパンと交換して食べさせてくれた。

当日は、地区の住民全員が砂上運動会に参加して楽しんだ。最後は砂浜で地震による津波が発生した時、どうするか等の体験を地区の長老が真剣に話してくれたことを思い出した。

一日一善と言うが、自分に出来る善い行いをしよう。そして明るく楽しい地域をつくるために大人ばかりでなく小学生・中学生の皆さんも提案しよう。

地域の宝である“子どもの心”をみんなで大切にしよう。



クロスワードパズル



親子で考えてみよう!! 二重ワクの文字を並び替えると出てくる言葉は?
(○にはすべてひらがなが入ります。)

答えがわかった人は、11月30日までにハガキかインターネット(市ホームページにメールフォームがあります。)に答えとこの広報紙の感想を書いて市青少年センターあてにお寄せください。答えをくださった方から抽選で5名様に「図書券」をプレゼントいたします。(パズルの正解は12月5日までに青少年センターHP[市HPトップからリンク]、喜連川・氏家公民館の掲示板で発表します。)

タテ

- ①秋の味覚 ○○
- ②教会にいます ○○○
- ③刀を納めるもの ○○
- ④たいやきとどちらがお好き?
○○○○やき
- ⑤まつたけが採れるといいな。
○○○○○
- ⑦お楽しみ○○○○○は、
NPO法人さくらの会がやっています
- ⑧少し遠くなりますが
○○○○○で行きましょう
- ⑪犬の鳴き声 ○○○○
- ⑬かぐや○○
- ⑮薬膳に入っている赤い実 ○○



ヨコ

- ①ホースやストロー、日本語では
(細長い筒のこと) ○○
- ②9月1日は○○○○の日
- ⑤秋の花 ○○
- ⑥合言葉
「○○」と問えば「川」と答える
- ⑦神奈川県のある島 ○○○○
- ⑨栃木県出身フォークデュオ。
いじめにバイバイライブにも出演
○○○
- ⑩この広報紙の名前は○○○通信
- ⑫地球は青かったと言った
宇宙飛行士 ○○○○○
- ⑬東海道新幹線 ○○○
- ⑭心を惹きつけられること ○○○
- ⑯甥(おい)の対語 ○○
- ⑰○○○○を鳴らして
映画の撮影開始

①			②		③	④
		⑤			⑥	
	⑦			⑧		
⑨				⑩	⑪	
	⑫					
⑬			⑭			⑮
⑯			⑰			

勇ましい演奏

--	--	--	--	--	--

第2号の当選者発表 成田稜様(喜連川)、草刈弘美様(氏家)、坂本弘様(喜連川)、加藤啓三様(蒲須坂)、日下部菜帆様(氏家)

シンポジウム開催のお知らせ

「大切な生命を救うためにー救急医療の現状を考えるー」



夜中に急に子どもが熱を出したり、具合が悪くなった経験はありませんか? そんな時に頼りになるのが救急隊や救急病院です。しかし、今、「救急車が出払っていきたくて出動できない」、「受け入れ先の病院がなかなか見つからない」など、地域の救急医療が危機的な状況にあります。こんな状況を少しでも改善するために、「大切な生命を救うためにー救急医療の現状を考えるー」と題したシンポジウムが開かれます。このシンポジウムでは塩谷郡市医師会、広域行政の救急隊、塩谷総合病院、一般市民の代表が塩谷地区の救急医療についてパネルディスカッションを行います。ぜひ、多くの市民が参加し、救急医療について意見を出し合ひましょう。

■とき 11月17日(土) 午後5時～ ■問合せ (社)塩谷郡市医師会
■ところ 矢板市文化会館 小ホール ☎682-3518

あとがき

寒い季節になり、日が短くなりました。私たちは、子どもたちが地域の中で、周囲の人々や日々変化する自然環境の中で自主性や社会性を育むことを望んでおります。しかし、全国的に子どもたちを巻き込んだ凶悪な事件が起こると、保護の考えから、子どもたちにとって大切な外で遊ぶ機会が奪われて、地域とのかかわりが希薄化し、みんなが人間不信に陥ります。このような問題を未然に防ぐために、保護者は自分の子どもと積極的にコミュニケーションを取り、近所の大人は日頃からあいさつを交わすように心がけましょう。

これらに取り組むことが、子どもたちを取り巻く環境や尊い命を守ることができることと確信しております。今後も、多くの地域のみなさんとともに、活動の一層の充実を図りたいと考えております。本紙についてご提言等ございましたら、お聞かせください。市では少年指導員を随時募集しています。私たちと一緒にさくら市の子どもたちをみんなで育てませんか。



広報啓発班 班長 福田 克之

さくら市の子どもをみんなで育てよう

毎年11月は 全国青少年健全育成強調月間

発行 さくら市青少年センター(事務局生涯学習課) 〒329-1492 栃木県さくら市喜連川4420-1 電話 028-686-6621 FAX 028-686-5368 電子メール syogaigakusyu@city.tochigi-sakura.lg.jp 市ホームページ http://www.city.tochigi-sakura.lg.jp

みんなで楽しくワクワクキャンプ

大野東子ども会

7月24日～25日大野東子ども会の「みんなで楽しくワクワクキャンプ」が大野公民館でおこなわれました。

参加者は、小学生37名、さくらリーダーズクラブ6名、幼稚園児、保護者、区長、公民館長、友の会（老人会）会長はじめたくさんの地域の方々を含め約80名でした。

夕食の準備では、はじめて包丁を持つ子もいましたが、みんな楽しそうに調理をしました。薪の煙にむせながら飯ごうでごはんも炊きました。シートを敷きたくさんのテーブルを並べた「野外食堂」は、地域の人たちが作ってくれました。夕方には校長先生と仕事帰りの父親も加わり、皆と一緒に食べたカレーライスは特別おいしく、おかわりする子が続出しました。

肝試しでは、リーダーズの工夫でとても盛り上がりました。

（スイカ割りやゲーム、花火なども行いました。）

キャンプ中の子どもたちは、どの子にも笑顔があふれ、励まし助け合う姿がたくさんみられました。またリーダーズや地域の人たちとも心あたたまるふれ合いができました。

こうして初めて行った宿泊の行事は、多くの人たちの理解と協力のもと「おもしろかった。またキャンプをしたい」と大好評の内に無事に終わりました。

子ども会のこのような活動が、さらに広がっていくことを期待しています。

協力してくださった皆さん、ありがとうございました。



好きな人がいますか？

あなたには、好きな人がいますか？
いつでも、その人と一緒にいたいですか？
その人にふれたい？そして・・・？！

そんな感情を持つことは、ごくごく自然な事です。
恥ずかしい事ではないし、隠すことでもありません。

でも、「ちょっと待って!!」
感情のおもむくままに行動する前に、
考えて欲しい事があります。

「その行動によって、もたらされるものは？」

たった一度の性交で、エイズに感染して亡くなった人がいます。
恐ろしい性感染症にかかってしまった人がいます。
望まない妊娠をした人がいます。
中絶の後遺症で、赤ちゃんを産めない体になった人がいます。

100%安全な性感染症予防法はありません。
100%完全な避妊法はありません。

一時の感情に流されてしまって、
もし感染してしまったらどうしますか？
もし赤ちゃんができてしまったら、一体どうしますか？
今のあなたに育てられますか？

「えー、私は大丈夫だよ！」
「本当に？」
「あなたが大丈夫と言う根拠は？」
「そうならないという保障は、どこにもありません」



最近アメリカでは、結婚まで自己抑制し、相手を尊重する「自己抑制教育」が行われ、成果を上げています。低学年から避妊方法を教育し、婚前交渉を容認する従前の性教育は、初体験の低年齢化を招き、性の乱れを呼ぶのみであったとの反省に立ったものです。性欲は本能であり、自然な事です。それを制御できてこそ、人間としての尊厳があるのではないのでしょうか。

あなたが、本当にその人が好きなら、
大切に、大切に思っているのなら、
その人と「一生」幸せに暮らしていきたいのなら、
どうかその人との関係を、
「大事に、大事に」はぐくんでください。
急ぐ事はありません。

最近の日本では、初体験年齢がどんどん低下しています。
いつまでも「体験しない」事は恥ずかしい事ですか？

「遅れてる？」
「今どき、ありえない？」
「絶対にそんなことはありません！」

「欲望に流されず、きちんとコントロールして、パートナーを尊重する」
「大事に、大事にして、時が来るまで我慢する」

それはとても「勇気」が要る事です。
流されてしまう事は実に簡単です。
子どもにだってできます。
でも抑制する事は、強い意思をもった人にしかできません。
真に相手を「愛している」人にしかできません。

私たち大人は心の底から願っています。
はじめたばかりの皆さんの人生。
「どうか、どうか幸せに歩いていってほしい！」
「道を誤ることなく進んでいってほしい！」
「好きな人と結ばれて、祝福される出産をしてほしい！」
皆さんの「幸せ」が、「笑顔」が、
私たちには何よりの「喜び」なのです。

「ゆめ！さくら博」に参加しよう!!

「ゆめ！さくら博」は、市民の方が学習した成果の発表や活動の情報とネットワークづくりや、またボランティア活動にも参加する場になることを目的として、「市民のやれることは市民でやろう」と、出店者の方たちが主体的になって計画、準備し、実施する「まちの学園祭」のようなものです。

会場は子どもから大人までが一緒になって、楽しくものづくりを体験したり、学習したり、遊びも出来る「学びのお祭り広場」になります。

夢と感動、楽しさとなつかしさいっぱいの「ゆめ！さくら博」にお父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、そしてお友だちと一緒にぜひお出かけください。



★10月27日 土曜日 午前10時から午後4時まで
★10月28日 日曜日 午前10時から午後3時まで
* さくら博会場間は無料シャトルバスが運行しています

ゆめ・感動・じぶん発見

ゆめ！さくら博

2007

EXPO 2007 YUME SAKURA

10月27日(土)・28日(日)

午前10時～午後4時
(ただし、28日は午後3時まで)

～市民参加の学びのみ、体験そして感動～

陶芸、お花、フラダンス、国際交流、ダンボールクラフト、もちつき

体験メニューガイド

場所 喜連川公民館 氏家公民館 氏家公民館 喜連川図書館 さくら市ミュージアム

主催 ゆめ！さくら博実行委員会(出店者、生涯学習課、氏家・喜連川公民館)
お問い合わせ ゆめ！さくら博実行委員会事務局 さくら市生涯学習課 TEL 028(686)6621

くわしくは、10/21(日)に新聞折り込みしましたパンフレットか市ホームページをご覧ください。